

障害者の暮らしの場に関する現状について

1. 障害者グループホームについて

(1) 施設・入居定員数（令和8年2月時点）

区分	施設数	入居定員数
知的	16	103
精神	7	26
身体（福祉ホーム）	1	7
計	24	136

(2) 障害者グループホーム整備事業者に対する整備費補助

	利用者の8割以上が障害支援 区分4以上の施設	左記以外の施設
補助上限額	2,000万円	1,600万円

(3) 将来の暮らしに関する調査結果について

問『将来、どのような暮らし方をしたいか』

【全体】「家族と一緒に暮らしたい」と回答した割合が最も多く、「ひとりで暮らしたい」は2割。

【障害別】知的障害者は「グループホームで暮らしたい」と回答した割合が特に高く、支援を受けながら地域で暮らしたい希望がある。

（令和7年度目黒区障害者計画策定に関する調査結果より）

2. 居住支援協議会について

地域福祉団体、不動産団体、行政が一丸となって、低額所得者、高齢者、障害者、子どもを養育する家庭など住宅の確保に配慮が必要な方の居住支援に関する必要な支援策について、専門的な協議を行う場である。

委員構成	学識経験者、地域福祉団体、不動産団体及び区職員（福祉、子育て及び都市整備の関係所管）の全23名
活動実績	令和5年度：2回、令和6年度：2回、令和7年度：2回
所掌事項	<ul style="list-style-type: none"> ・居住支援施策に関する意見及び検証 ・住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅等への円滑な入居促進及び居住の安定 ・地域福祉団体、不動産団体、行政との連携及び情報共有 ・家主や不動産事業者への講演及びセミナーの開催 ・区民向けに居住支援制度や関連サービスの周知